

第2回地域審議会会議録

(敷島地区)

1. 日時

平成18年8月29日(火)

19:00～21:00

2. 場所

甲斐市敷島総合文化会館 2階：会議室A

3. 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 審議事項

1) 平成18年度における甲斐市重点プロジェクト事業等の進捗状況について

2) 質疑応答

3) その他

(4) 閉会

4. 出欠席者

(1) 出席委員[9名]※委員名簿は別紙

(2) 事務局

伊藤企画部長, 小田切企画課長

企画課総合政策担当・有泉リーダー, 同・保坂副主任, 同・土橋主任

敷島支所市民課庶務担当・中込リーダー

(3) 欠席委員[1名]

赤澤委員

5. 議録

(1) 開会

[企画課長]

本日は第2回甲斐市敷島地区地域審議会にお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。ただ今より審議会を始めさせていただきますが、赤澤委員さんにつきましては本日、欠席との連絡が事務局に入っております。

それでは次第に従いまして審議会を進めさせていただきます。

開会の言葉を窪田副会長さんよりお願いします。

[副会長]

改めてこんばんは。大変残暑が厳しい折、また、忙しい皆様方のお集まりいただきまして今日は第2回目の地域審議会を行いたいと思います。

次第に基づきまして審議をしていただくことをお願い申し上げて開会のあいさつと代えさせていただきます。よろしくをお願いします。

(2) 会長あいさつ

[企画課長]

続きまして横山会長さんよりあいさつをお願いします。

[会長]

皆様方、文字通り公私ご多忙の中ご出席いただき、お礼申し上げます。

日進月歩甲斐市も山積する事業を市長始め職員の皆さん献身的にご努力していただいていることをお礼申し上げます。

駅を中心とした周辺開発・クラインガルテン50棟の建設に伴う北部の開発・北環状道路・敷島田富線の拡張などが山積しており、あと10年もしたら、これが甲斐市かと言う位の展望が開けていくのではないかと…。それに伴う地元としての受け入れ態勢、また開発に係る住民のメリット・デメリットを考えながら10年・50年末を見定めながら過ちのないよう、これから進めて参らなければならないと思います。

そのためには地域審議会の中で見定めていく重要な会議だろうと思います。

どうか皆様も慎重にご審議していただき、踪跡を作っていただきたいと思っています。

簡単ではございますがあいさつと代えさせていただきます。

(3) 審議事項

[企画課長]

審議事項の進行につきましては甲斐市地域審議会条例第8条によりまして、会長に議長を務めていただくことになっておりますので、横山会長さん進行をよろしくをお願いします。

[会長]

それでは不慣れですけども審議の進行を勤めさせていただきます。

1) 平成18年度における甲斐市重点プロジェクト事業等の進捗状況について

[会長]

平成18年度における甲斐市重点プロジェクト事業等の進捗状況について、市からあいさつも兼ねて説明をお願いします。

[企画部長]

改めましてこんばんは。私、企画の担当をしております伊藤と申します。よろしくお願いします。

本日は公私共にお忙しい中、第2回地域審議会にお集まりいただき、ありがとうございます。

本市は平成16年9月に3町が合併いたしまして、年度で申し上げますと16・17・18年となりますが、月数で申し上げますと今年31日で2ヵ年経過をするところでもあります。

合併協議会で制定していただきました新市建設計画・平成18年3月に作成しました甲斐市総合計画に基づきまして「緑と活力あふれる生活快適都市」を目指して諸政策を推進しているところでもあります。

国は財政改革としまして骨太の方針が示されております。三位一体の改革による補助金の削減。特に地方交付税の改革は新聞紙上で言いますと人口割・面積割とのことで大変見えない部分があるわけでございます。

また、財源移譲は交付税の場合は5税ありまして、移譲しますと地域格差が広がってくるわけでございます。一例を話しますと法人税を財源移譲していただいても、東京都と沖縄県では約10倍の格差が出る状況があるわけでございます。特に補助金も削減されてきますと、甲斐市も含めた地方公共団体の財政状況は一段と厳しくなる状況です。

甲斐市といたしましても甲斐市総合計画の基本計画に基づきまして主要事業を進めてまいります。主要事業につきましては先ほども会長さんからお話しございましたように審議委員さんにご意見・ご提言をいただきながら街づくりの基本理念であります「緑と活力あふれる生活快適都市」を進めてまいりたいと思います。

審議事項につきましては担当のリーダー・担当者からご説明申し上げますが、よろしくお願い申し上げます。

[事務局]

資料訂正ですが主要事業進捗状況表の2頁5番・庁舎整備事業ですが担当課が敷島市民課となっておりますが、総務課に訂正をお願いします。

(会議資料についての説明)

(地域審議会についての説明)

(重点プロジェクト事業の進捗状況等について説明)

【主要事業進捗状況表：1～4頁】

[事務局]

(一般主要事業の進捗状況等について説明)

【主要事業進捗状況表：5～6頁】

2) 質疑応答

①重点プロジェクト事業について

[会長]

重点プロジェクト事業の進捗状況等についてご質問がありましたらお伺いします。

【竜王駅都市拠点整備事業について】

[委員]

竜王駅都市拠点整備事業において現状の土地の取得状況は？

[企画部長]

大きな用地交渉なので随時用地交渉が整った段階で整備を図っている状況で、所管課から今現在用地の同意を何件いただいているか、という状況は事務局では把握しておりませんので、必要とあれば調べて報告させていただきたい。

[会長]

設計が世界的に有名な安藤先生などの竜王駅が完成したら大勢の見学者が来ると思うので、来訪者の周辺等の受け入れ態勢は？

【企画部長】

竜王駅の周辺道路整備はできてきておりますが部分的な面的整備はどうするかの方角性は出ていない状況であります、甲斐市総合計画に記載されている「リーディングプロジェクト」のひとつである「JR竜王駅を拠点とする周辺地域活性化プロジェクト」を7月に立ち上げて検討を開始しております。

また、経産省の「中心市街地活性化の取組みに対する・助言事業」に手を上げ、全国10箇所のひとつに内示をいただき、それらの中で取組んでいこうと考えております。

【会長】

竜王駅の特急の停車について将来的な考えは？

【企画部長】

JRにお願いして今現在、上り始発が毎日2本運行されておりますが、ホームの構造上、特急と停めるためには甲斐市負担でのホーム整備の問題や甲府まで5分であるという問題がありますので、駅の利用状況等をふまえながら駅前の駐車場の整備も含め、協議をしていかなければならないと考えております。

【しきしまの里整備事業について】

【委員】

県営事業で実施される日帰り型市民農園25区画は事業拡大により県営事業として追加されたものか？

【事務局】

当初の計画にあり、日帰り型市民農園は県営事業として執行されているものでございます。

【会長】

クラインガルテンを核に北部振興をしていただきたい。

【委員】

教育委員会と連携して食育・環境教育として学校農園を設けてはどうか？

【3拠点整備事業・公園整備事業について】

【委員】

甲斐市敷島総合文化会館駐車場の一部未舗装の所を舗装したらどうか？

【企画課長】

当時の敷島町で予算の関係と雨水対策との2つの理由がありましたが、甲斐市としましては防災公園等の計画をふまえた中で協議をしていきたいと考えております。

[委員]

公園整備事業について2度の説明会は説明のみであったので、替地等の確実な内容がわかるのはいつか？

[企画部長]

用地の今現在進捗状況は担当課でないとわからないが、18年度にある程度基本設計をいって、都市計画決定をしていけるように進んでいる状況であります。

[委員]

予定や該当者・賛成者数などは？

また、周辺の地権者が移転を含めた状況を気にしている。

[事務局]

該当者（対象者）数につきましては調べれば解かります。

[企画部長]

担当課にそのような意見があったことを伝えます。

【庁舎整備事業について】

[委員]

庁舎建設についての専門部会はどのような方たちがメンバーか？

[企画部長]

総合計画審議委員の中で「庁舎建設」と「交通システム」に2つに分かれて審議していただき、報告していただきました。

また、新庁舎整備につきましては先日、市長からも整備を進めるので、そのために、「庁内でプロジェクトをつくり、協議していくように」指示を受け、9月に職員によるプロジェクト研究会を立ち上げるところであります。

なお、敷島・双葉庁舎は昭和56年の建築基準法改正前の建設ですのでそれらの耐震整備を進めなくてはならない。また、組織・事務事業の見直しもふまえた中で分庁ではなく集約していく方向で進んでいく考えであります。

[委員]

将来を見据えてやっていただき、本庁舎建設するにしても広く住民の意見を聞いて協議してもらいたい。

[企画部長]

甲斐市総合計画の120頁に本庁舎につきまして報告をいただいておりますので、ふまえた中でプロジェクトを立ち上げていきます。

【新交通システム整備事業について】

[委員]

清川・陸沢まで路線を延ばすことはできないのか？

[企画課長]

この事業は市がバスを買って運転手と雇ってとは行きませんので、あくまで試行運行で利用状況のニーズを把握しながらの委託運行をするところであります。

また、山梨県は自家用車が主流でして、委託運行している山梨交通の路線バスも赤字路線を抱えての運行であり、関東運輸局の許可が必要で、山梨交通の路線との競合はいけないとの大前提がございまして、走らせる路線が限定されての今回の試行運行となりました。

[委員]

停留所の場所について

[企画課長]

停留所の場所についても関東運輸局・警察の許可が必要であります。

[委員]

28人乗りではなくもっと小さいバスにして北部地域への路線を増やしては？

[企画課長]

委託している山梨交通で一番小さいバス。自前でバスを買うことは人件費等のコスト上できない。

[企画部長]

竜王駅を拠点としているのは竜王駅周辺開発として補助金が出るという理由があるが、まずは、試行運行で利用していただかないと、厳しい状況になってしまいます。

[委員]

雨宮委員さんが言われたとおり利用客は非常に少ないと思われるが清川地区まで5・6人乗りのバスで一日2・3便でもよいので走らせてもらいたい。

また、防災のヘリポートを北部地域などに新設を検討いただきたい。

[企画部長]

担当課に伝えさせていただきます。

②一般主要事業

[会長]

続きまして一般主要事業の進捗状況等についてご質問がありましたらお伺いします。

【天狗沢・大久保線道路改良工事について】

[委員]

天狗沢・大久保線の天狗沢の公民館から北側の四つ角までの広がる見通しは？

[事務局]

H18～19までの事業予定は上からその四つ角の手前までとなっておりますのでそれ以降につきましては担当課に確認して報告いたします。

[委員]

該当地の近所の住民からも何とかしてもらいたいとの要望があるので役場でも積極的に方向性など住民同士の話し合いなどのアドバイスしてもらいたい。

[企画課長]

建設課に話をしてみます。

【志麻の湯配管改修工事について】

[委員]

温泉施設について敷島町では福祉であったが甲斐市では商工観光に所管がなっており、経営方針が変わったのか？

[企画部長]

3町それぞれ所管が違ったので統一して観光施設として利用しようとして所管が決まったと思います。また、合併して2年が経とうとしていますので事務事業・組織等の見直しなどの検討をしていく必要であろうと思います。

[委員]

経営の思想により敷島では福祉目的であったのが今では経営効率で、開館時間前でも中に入れて待たせてもらえたが、今では外で待たされるとの声があるので福祉を目的としてサービスとして運営すべきではないか？

[企画部長]

行政改革の中では国の考えでも指定管理者が推進されており、北杜市・南アルプス市では大半の施設が指定管理者となっており、甲斐市としても指定管理者を含め、組織の見直しなど、どのような形で運営していくか、検討を進めていく必要があります。

3) その他

[委員]

合併して先ほどの風呂の件も含め届出等の複雑さなどサービスの不満がある。

[企画部長]

合併は実際のところ住民サービスということではなく、合併して地方が強くならなければいけない部分もあって合併しました。

3町それぞれ地域を違うので統一するのはなかなか難しいですが、やっていかなければならないこともご了承いただきたいので、ひとつのことではなく「緑と活力あふれる生活快適都市」という将来像を目指していきたいのでよろしくをお願いします。

[会長]

誕生して2年ですが旧3町をすり合わせして円滑に行くにはまだ多少の時間がかかると思いますが、甲斐市に住んでよかったと思えるようにご努力をお願いします。

[委員]

3町の各公民館や文化ホールにより使用料が違うとの声がある。

[企画部長]

教育委員会の所管ですのでこの場では使用料は把握していませんが、公民館と文化ホールや公民館でも町により設備が違い、照明使用料等で使用料は若干違うのではと思います。

また、教育委員会に料金が統一されているのか今の状況を確認します。

(4) 閉会

[企画課長]

横山議長さん議事の進行ありがとうございました。

閉会の言葉を窪田副会長さんにいただき、審議会を閉めたいと思います。

[副会長]

皆様2時間にわたり、貴重なご意見いただきありがとうございました。

これをまた行政に活かしていただきたいと思います。

今日は委員の皆様、行政の皆様、大変ご苦勞様でございました。